

原料炭大手

豪サイクロン被害響く

原料炭大手の4—6月の生産実績によると、大手5社の生産量は2790万トと1—3月比14・3%減った。豪州東部を3月末に襲った大型サイクロンが影響した。1—6月は6050万トと前年同期比9・2%減った。昨年7—12月比では14・8%落ち込んだ。豪州でもサイクロンで被害を受けた鉄道インフラが復旧しており、今後各炭鉱の生産が挽回する見通し。

最大の豪BHPピリトンの豪BHPピリトン三菱アライアンス(BMA)の4—6月

7月以降は落ち込んだ生産を立て直す。加テック・リソーシズは4—6月として生産が最高だった。豪州の生産障害で北米に代替手配の追い風が吹いた格好だが、7—9月は販売量が700万ト以上と4—6月の販売

原料炭大手生産

(単位: 100万ト)

	4—6月	前年同期比	前期比	1—6月	前年同期比
BMA	12.8	⊖30.7%	⊖20.0%	28.8	⊖15.8%
テック・リソーシズ	6.8	1.5%	11.5%	12.9	⊖3.0%
アングロ・アメリカン	4.0	⊖19.5%	⊖24.4%	9.2	2.1%
リオ・ティント	2.2	⊖19.3%	⊖14.6%	4.7	⊖19.4%
グレンコア	2.2	10.0%	⊖18.5%	4.9	16.7%
計	27.9	⊖19.7%	⊖14.3%	60.5	⊖9.9%

のグレンコアは豪州の原料炭鉱がサイクロンの影響を受けて4—6月は1—3月比減産だった。アングロ・アメリカンは年間1900万トの計画を変えなかったが、

韓・厚板輸出

6月9.7%増27

単価、6カ月

韓国の6月の貿易統計によると、厚板輸出は前月比9・7%増の26万7000トと3カ月ぶりに増えた。インド、日本、豪州向けなどが増えた。単価は5・7%安のトン5800バ(6万3300円)以上上がった。

6月の輸出は数量の

ハウゼコ

「防虫網」の販売強化

住宅外壁 通気層用 胴縁2サイズ対応

hausseco(ハウゼコ、本社大阪市中心区、神戸陸史社長)は、住宅外壁の通気層下端に設置する「防虫網」を開発し、新製品として販売を強化している。壁体内に虫や小動物に侵入することを防ぎ、通気層を守る。住宅で実際に発生した事例が報告され、建築・設計業界から問い合わせが増えている。

住宅の外装材(サイディングなど)と躯体の間に設けた通気層は、空気の流れによって滞留する湿気を排出し、結露を防ぐなど現在では主に木造住宅の耐久性向上に必要不可欠となっている。

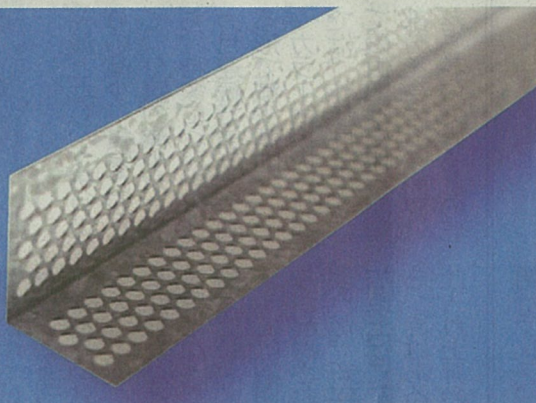
体内部にハチやコウモリが侵入するという事例が報告されていたことから、新たに防虫網を開発、製品化した。薄物のガルバリウム鋼板にパンチング加工と曲げ加工を加えたもので、壁体内への虫や小動物などの侵入を防止

する。対応する胴縁サイズは15・18で、一般的な住宅の胴縁サイズ2種類をカバーしている。住宅の通気層に関する問題は、相談先が分からないといった事例も多いという。取引先の建築・設計

業界から実際の事例が情報として入り、対策への関心もさらに高まるとみている。防虫網に対する問い合わせも増えており、提案活動を強化していく。

ハウゼコは、換気棟や屋根役物・壁役物など、住宅用換気・通気外装部材をワンストップで供給できる建築材料メーカー。6400種類以上の商品群を持

ち、換気・通気の技術ノウハウを生かし、新製品を毎年拡大。防虫網を含めた新製品を2016—17年カテゴリーに加えている。



通気層への侵入を防ぐ「防虫網」(下は施工例のイメージ)